



2019 年度を振り返って

2020.3.27 高見保育園

年明けから新型コロナウイルス肺炎の影響で、活動の変更や縮小でご協力を頂きありがとうございました。連日流れる報道に不安になる方も多かったと思います。園としては、正確な情報を整理し、予防法や園の対応などの手紙の配布や掲示をするなどし、過敏になり過ぎない様に対応してきました。今もなお、感染の恐れはありますが、落ちついて対処したいと思っております。場合によっては、市の要請で臨時休園となる事もありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

さて、今年度もあと数日となりました。2019年度の振り返りをしました。

子どもとの関わりでは、一人ひとりの成長に合わせた関わりを心掛けました。幼児クラスでは、個々の目標や課題に合わせた声かけや対応をし、時には甘えを受け入れながらも無理のないように保育してきました。乳児クラスでは、昨年引き続き、子どもを主体とした流れる保育を実施。子ども一人ひとりのリズムに合わせて保育していくことで、のびのびと外遊びなどの活動を行うことができた反面、集団生活であるため時間に限りがあることへの矛盾やみんなで遠出することができない等、いくつかの課題もみえてきました。

保護者との関わりでは、その日の園での様子を話すなど、送迎の短い時間ですが、コミュニケーションを取ることを心掛けました。また、個人面談等では、家庭での様子を伺うこともでき、保育に役立てることもできました。保護者の方からも園での様子を聞き、良い面でもそうでない面でも家庭とは違うお子さんの様子に驚かれた方もあったようです。お子さんを理解するうえで、お互いに良い機会となりました。

保育士同士の連携では、正規職員とパート職員との連携が上手くいかず、子どもの対応に統一性がなくなってしまうことがありました。パート職員を含めた会議の時間がとれるように改善したいと思います。

今年度の保育目標「一人ひとりの人権を大切にし、他児を思いやり、道徳性を培っていく中で、自立して行動に移す力も育てる。」「友だちと色々な経験をし、心身共に健やかな子どもを育む」は、職員で考え保育を進めていきました。保育目標に掲げた『人権』についての園内研修をするなどし、保育目標を今まで以上に意識して保育ができたようです。次年度も引き続き同じ目標で保育をしていきます。

また、次年度は、『子どもの主体性を尊重していく保育について』の学ぶ機会を多くもつ予定です。他園への見学や研修に参加するなどし、職員間で共有、理解を深め合い、色々な角度から高見保育園の保育を考えていきたいと思っています。保護者の皆様には、今後とも高見保育園の運営にご理解とご協力をよろしくお願い致します。



今年度の苦情件数は、1件。駐車場利用について近隣の方からご指摘を受けました。駐車場利用の際は、ルールを守り、事故等ないように気をつけましょう。